

カイヤドリウミグモについてのお知らせ

東京湾（木更津地区）で発生が確認されました「カイヤドリウミグモ」は現在も生息しております。

カイヤドリウミグモとは、アサリやマテ貝やシオフキ貝などの2枚貝に寄生し、その体液を主食とする節足動物です。詳しい生態は現在研究機関にて研究中です。

また当組合では、千葉県水産研究センターが実施する毎月2回の県一斉調査におきまして、潮干狩場からも採取し検査して頂いております。

（※調査には顕微鏡を使用しております。）

アサリにつきましては、千葉県水産研究センター及び木更津市潮干狩協議会それぞれの調査におきまして、検査機関より人体に影響はないとの検査結果を頂いております。

（実際に漁協職員も試食しており問題はありませんでした。）

久津間漁業協同組合
代表理事組合長 飯塚 恒平